

記事内容

- ☆東北地方太平洋沖地震
- ☆2011 春季生活闘争ミニマム賃金アピール
- ☆3.8 国際女性デー / 就職支援に関する取り組みについて
- ☆第17回統一地方選挙
- ☆第82回県中央メーデー開催について
- ☆ステップアップセミナー開催案内 / 労働委員会事務局
移転のお知らせ / 4月の行動日程
- ☆あけぼのビル

東北地方太平洋沖地震 連合埼玉・災害対策救援本部を設置

3.11 マグニチュード9.0巨大地震発生



3月11日(金)、14:46頃、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0の巨大地震が起きた。気象庁によると観測史上最大規模のもので、宮城県北部では、震度7を記録し、東北地方を中心に広範囲に甚大な被害をもたらしている。その後も余震は続き、津波の被害も拡大する様相を呈している。

こうした状況を受け、連合は、発災時の緊急対応組織として、連合本部に情報収集と緊急課題への対応を目的とした、災害対策救援本部を設置した。

これを受けて、連合埼玉にも災害対策救援本部を設置し、連合本部と連携を取って災害地救援対策を進めることにした。

(上写真は、震災直後の連合宮城の事務所)

2011春季生活闘争 第二次行動 ミニマム賃金アピール行動

～政策制度要求と労働条件交渉を「両輪」に
すべての労働者の雇用と生活の安定を実現しよう～



連合埼玉 宮本重雄会長



武正公一 衆議院議員



大野元裕 参議院議員

連合埼玉は3月8日(火)夕方、大宮駅東口で「2011春季生活闘争、格差是正に向けたミニマム賃金の周知」と同時に「3.8国際女性デー」のアピール行動を行った。これは連合の2011春季生活闘争として、「すべての労働者の処遇改善」にむけた2年目の闘いと位置づけ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、企業の生産活動に労働を提供するすべての人々の生活が改善されるよう、闘い抜くとともに、希望と安心をもって暮らせる、公正・安心・安全な社会の実現を訴える街宣行動である。同時に県内12の地域協議会も3月7日(月)～11日(金)の間に各駅頭等においてもアピール行動を行った。

主催者を代表して挨拶した宮本会長は、「2011春季生活闘争は、働く者の、そして日本経済と社会の行く末を左右する。経営側は賃金総額抑制の姿勢を変えていないが、それでは低成長とデフレからの脱却はできない。1%を目安として適正な配分を求めていく」との主張がされ、その後佐藤事務局長から、今春季生活闘争の状況説明および、埼玉県におけるミニマム賃金の周知と世論喚起に向けた、「賃金格差是正のための地域ミニマム賃金」のアピールがされた。

また3月8日(火)が3.8国際女性デーであることから、「すべての働く女性が安心して働き続け、子育てしやすい社会の実現」などを女性委員会の横山委員長が訴えた。

その後、本行動の趣旨に賛同された民主党議員団から応援のメッセージをいただくとともに、街宣行動でのチラシ配りと同時に行った、女性の尊厳の象徴であるバラの花の配布にも協力をいただいた。



山根隆治 参議院議員



森岡洋一郎 衆議院議員



連合埼玉 佐藤道明事務局長

〈ミニマム賃金について〉

中小企業労働者の賃金格差を是正するため、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことを目指す目的に「地域ミニマム運動」を推進。20歳～45歳(5歳毎)に基準を示し、個人の位置づけの確認や各労働組合の指針となるよう、また世論喚起を含め、誰からも水準が理解される金額を設定し、35歳をポイントとしてミニマム賃金設定。

2011年度年齢別最低賃金基準(ミニマム賃金)

(設定金額より低い賃金をなくしましょう)

年齢	設定金額
20歳の人で	157,000円
25歳 〃	179,000円
30歳 〃	200,000円
35歳 〃	221,000円
40歳 〃	240,000円
45歳 〃	261,500円

最低賃金は法律で定めています。ミニマム賃金は年齢別基準の目標値として提示しています。

- 《注意》①この賃金は、男女同一です。
②年齢は今年の4月1日現在の満年齢です。
③設定額は、いずれも今年の4月分給与からです。
④この金額は、時間外手当・休日出勤・交替手当・通勤手当を除き、毎月決まって支払われる定時間内の賃金です。



～構成組織のトップによる「男女平等参画推進宣言」～

私たちが社会から認められ持続的に発展する為には「人」が一番重要です。つまり、男女平等参画は当たり前の環境にすることが大事です。我々、自動車総連は未来の地球の為に強力に取り組んでいきます。

自動車総連埼玉地協 議長 関口 信之輔

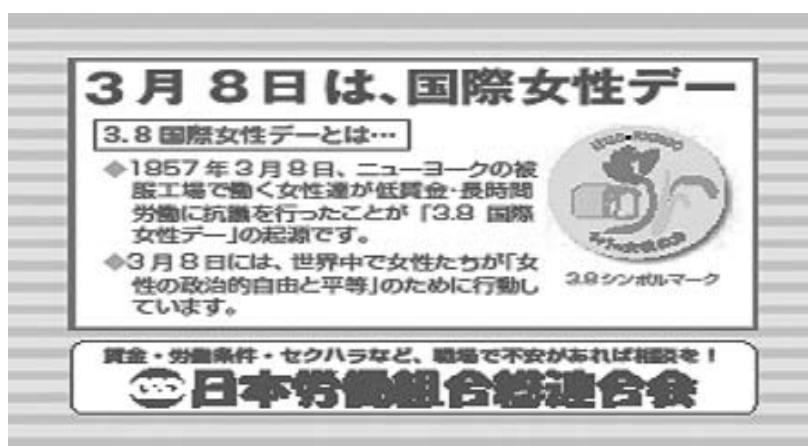
2011春季生活闘争 3.8国際女性デー全国統一行動

連合は、3月8日の国際女性デーの取り組みを春季生活闘争行動の一環として位置づけ、中央集会を開催するとともに、全国各地で「3.8国際女性デー」の統一行動アピールを行った。

連合埼玉では、大宮駅東口において実施した2011春季生活闘争第二次行動の中で、働く女性の立場から、連合埼玉女性委員会の横山薫委員長が、国際女性デーの主旨と意義、「女性に対する暴力の廃絶」についての訴えがされた。また、参加した女性委員会・男女平等参画推進委員会のメンバーから、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」の花を配りながら「3.8国際女性デー」のアピールを行った。



「3.8国際女性デー」をアピールする連合埼玉女性委員会 横山薫委員長



国際女性デーの主旨等を明記したメッセージカード



メッセージカードを添えたバラを配布

平成23年3月大卒・短卒(既卒者含む)の就職支援に関する取り組みについて

厚生労働省と文部科学省が1月18日に発表した今春卒業予定の大学生・短大生の就職内定率は、2010年12月1日現在で68.8%(前年比4.3ポイント減)と1996年調査開始以来過去最低となっており、埼玉労働局が1月28日に発表した県内大学生においては46.1%と5割をきる非常に厳しい状況である。このような情勢の中、昨年開催された第17回地方委員会においても、雇用の安定・確保と、雇用創出に向けた取り組みについて積極的に展開することを活動計画の中で確認してきたことをふまえ、各構成組織ならびに加盟組合より各企業に対して「採用協力」要請を行い、一人でも多くの方が就職できるよう「就職支援活動」を展開している。6月中旬には、埼玉労働局と連携して、「就職面接会」を開催する予定である。

平成23年3月卒業 埼玉県内大学・短期大学の就職状況(2010年12月1日現在)

全体

区分	卒業予定者数	就職希望者数	内定取得学生数	就職希望率	就職内定率
大学	22,403	17,369	7,999	77.5%	46.1%
短期大学	2,025	1,772	986	87.5%	55.6%

第17回統一地方選挙

組織内候補者

埼玉県議会議員

さいたま市岩槻区 南12区



佐藤 征治郎
(建設埼玉)

上尾市 南13区



畠山 稔
(JAM埼玉)

美里町・神川町・上里町 北3区



丸山 真司
(電機連合)

熊谷市 北6区



田並 尚明
(JP労組)

越谷市 東9区



山本 正乃
(自治労)

さいたま市議会議員

さいたま市大宮区



松本 敏雄
(JR総連)

さいたま市大宮区



西山 幸代
(埼玉教組)

さいたま市中央区



高柳 俊哉
(埼玉教組)

さいたま市緑区



神崎 功
(UIゼンセン同盟)

さいたま市岩槻区



野呂多美子
(自治労)

市町村議会議員

川越市



片野 広隆
(UIゼンセン同盟)

川越市



石川 智明
(自動車総連)

熊谷市



松本貢市郎
(電機連合)

熊谷市



黒澤三千夫
(電力総連)

東松山市



関口 武雄
(JAM埼玉)

狭山市



内藤 光雄
(自動車総連)

羽生市



蜂須 直巳
(電機連合)

鴻巣市



中島 清
(JP労組)

越谷市



玉生 芳明
(自治労)



～構成組織のトップによる「男女平等参画推進宣言」～

男女平等参画社会と叫ばれて久しいですが、進展しているとは思えません。社会・労働組合だけでなく社会全体の意識改革が必要だと思います。電機連合埼玉地方協議会は、加盟組合と共に率先して推進し、世論形成をしていきます。

電機連合埼玉地方協議会 議長 金井 浩

■市長

選挙区	候補者名
行田市	工藤 正司

■埼玉県

選挙区	候補者名
南1区	草加市 山川百合子
南2区	川口市 菅 克己
南3区	西区 信賀 信孝
南4区	北区 高木 真理
南5区	大宮区 藤井 健志
南6区	見沼区 井上 將勝
南7区	中央区 増淵 秀一
南8区	桜区 田島 剛
南9区	浦和区 浅野目義英
南10区	南区 木村 勇夫
南11区	緑区 松岡 耕一
南12区	岩槻区 佐藤征治郎
南13区	上尾市 畠山 稔
南15区	北本市 平尾 良雄
南19区	蕨市 福田 秀雄
南20区	戸田市 中島 浩一
南21区	鳩ヶ谷市 白根 大輔
南22区	朝霞市 醍醐 清
南23区	和光市 神杉 一彦
西1区	所沢市 水村 篤弘
西2区	入間市 新井 格
西5区	旧上福岡市 谷 新一
西8区	川越市 矢部 節
西9区	日高市 川田 虎男
北3区	美里町・神川町・上里町 丸山 眞司
北5区	深谷市・寄居町 江原久美子
北6区	熊谷市 田並 尚明
東3区	旧加須市 恩田 博
東6区	蓮田市 山口 眞司
東7区	旧菖蒲町・宮代町・白岡町 岡 重夫
東8区	旧春日部市 渋田 智秀
東9区	越谷市 山本 正乃
東12区	旧栗橋町・旧鷲宮町 細川 威 野中 智

■さいたま市

選挙区	候補者名	
さいたま市	西区 池田 麻里	
	北区 小川 寿士	
	大宮区 伊藤 仕	
		松本 敏雄
		西山 幸代
	熊谷 裕人	
	見沼区 三神 尊志	
		武田 和浩
	中央区 高柳 俊哉	
		山田ちづ子
	桜区 阪本 克己	
		岡 成樹

選挙区	候補者名
さいたま市	浦和区 原田 健太
	南区 丹羽 宝宏
	緑区 神崎 功
	岩槻区 野呂多美子

■市町村

選挙区	候補者名
川越市	片野 広隆
	石川 智明
	高橋 剛
	山木 綾子
	山根 史子
	熊谷市 松本貢市郎
黒澤三千夫	
小池 厚	
川口市 光田 直之	
	赤川 洋二
所沢市 石本 亮三	
	入澤 豊
	島田 一隆
	飛田和秀治
	福田 悟郎
	加須市 小林 信雄
齋藤 和雄	
東松山市 関口 武雄	
狭山市 内藤 光雄	
羽生市 蜂須 直巳	
鴻巣市 中島 清	
	長嶋 元種
越谷市 玉生 芳明	
	大石美恵子
和光市 菅原 満	
北本市 高橋 節子	
	井上 慶子
鶴ヶ島市 高橋 剣二	
日高市 永沼 大芳	
	横山 秀男
ふじみ野市 五十嵐正明	
	民部 佳代
	遠藤 昇
滑川町 上野 廣	
川島町 爲水 順二	
吉見町 柳谷 泉	
鳩山町 日坂 和久	
白岡町 石原 富子	

=組織内候補者



第82回埼玉県中央メーデーの開催について



とき	2011年4月29日(金)9:00~12:00
ところ	さいたま市「鐘塚公園」(大宮駅西口ソニックシティ隣)
規模	5,000名程度 <small>※模擬店を利用される方は「エコバッグ(買い物マイバッグ)を持参して下さい。 連合では環境にやさしいライフスタイルづくりをめざす「エコライフ21」運動に取り組んでいます。</small>



2010連合埼玉第81回埼玉県中央メーデーの様子

内容	
○アトラクション	・「天装戦隊ゴセイジャー」ショー ・「ザ・ニュースペーパー」ショー ・ぶっちゃけ!大声パフォーマンス
○メーデー式典	
○お楽しみ抽選会	・模擬店の出店 ・展示コーナー 中央労金・全労済・埼玉生協 埼玉県の観光案内・物産販売等、他



2010団結ガンパロー

基本的な考え方

メーデーの起源は、1886年米国シカゴのヘイマーケット広場で労働者たちが8時間労働を求めて立ち上がったのを起源として始まった。20世紀のメーデーは、とりわけ第2次大戦後は、「労働者の社会的地位の向上と権利の拡大、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和の希求」に深く貢献し、着実にその役割を果たして来た。

そして今、連合は21世紀のメーデーを「平和」「人権」「労働」「環境」および「共生」をテーマに、NGO、NPOとの連携による市民型のメーデーとして開催している。

メイン・スローガン(案)

「すべての働く者の連帯で、働くことを軸とする安心社会と自由で平和な世界をつくろう!」

地域メーデー前夜祭の開催

地協名	開催日時	開催場所
さいたま市	4月21日(木) 18:00~	市民会館おおみや小ホール

各地域メーデーの開催

地協名	開催日時	開催場所
秩父	4月24日(日) 9:00~	秩父ミュージックパーク野外ステージ
本庄・児玉郡市	4月30日(土) 10:00~	本庄市役所
北埼玉	5月 1日(日) 9:30~	行田市県立さきたま古墳公園
	5月 1日(日) 10:00~	羽生市小松南公園



～構成組織のトップによる「男女平等参画推進宣言」～

南米には「女が立ち上がったら、男は黙って見守れ」という諺があるそうです。職場や家庭、そして組合活動でも、女性が立ち上がり、出てきた意見や要望は大切にします。そんな積み重ねで男女平等参画社会をめざします。

JAM埼玉 会長 小林 直哉



女性が労働組合で輝くために



女性のためのSTEP UPセミナー開催について

STEP UPセミナーは、女性が組合活動への参加・参画していくために役員としての資質向上をはかる事を目的としたセミナーとして開催しています。セミナーは基礎編・応用編に分け、段階を踏んで学習していきます。役員の資質向上だけでなく構成組織内の女性組合員が日頃の問題や課題などについて連合埼玉内の仲間と共有認識を持って取り組めるような内容で開催を致します。

連合埼玉では、このSTEP UPセミナーを男女平等参画推進委員会と女性委員会が連携して開催することを決定しました。内容については、次のとおりであり、このセミナーに興味のある女性組合員や女性職場委員の皆様は是非、参加してみてください。

詳しくは、所属組合もしくは連合埼玉事務局までご連絡を下さい。

日時	2011年5月17日(火)10:00~16:40	対象	各構成組織・加盟組合の下記①②③に関わっている女性組合員
場所	さいたま共済会館5階504会議室		①女性活動や青年女性活動に関わっている。
内容	テーマ:~やる気スイッチを入れよう~「コミュニケーション研修」 【午前の部】「自己理解・他者理解を深めよう!」 【午後の部】「自分自身が輝くための第一歩を踏みだそう!」		②職場委員の経験がある。職場委員である。 ③新任の執行委員
		規模	30名程度

埼玉県労働委員会事務局の移転のお知らせ

県庁耐震改修工事完了に伴い、平成23年4月1日から事務局を移転することとなりましたのでお知らせいたします。

- 移転先 埼玉県庁 第三庁舎4階 〒330-9301 さいたま市浦和高砂3-15-1
- 電話番号(4月1日から)

審査調整第一担当	048-830-6452
審査調整第二担当	048-830-6465
FAX	048-830-4935

現在予定される4月の日程表です

4月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 金		第17回統一地方選挙(県・さいたま市)告示
2日 土		
3日 日		
4日 月		連合2011春闘共同推進集会(15:00~・ホテルラングウッド)
5日 火	シニア連合幹事会(15:00~・連合埼玉会議室)	中央労金結成10周年式典(15:30~・ホテルラングウッド)
6日 水	①第5回四役・執行委員会(10:00~・ときわ会館) ②災害ボランティア救援隊運営委員会(執行委員会終了後)	
7日 木		
8日 金		
9日 土		
10日 日		第17回統一地方選挙(県・さいたま市)投票票
11日 月		
12日 火		社会保険診療報酬支払基金幹事会(14:30~・支払基金)
13日 水		
14日 木	①第4回教育プロジェクト(10:00~・連合埼玉会議室) ②第4回青年委員会幹事会(15:00~・連合埼玉会議室)	労働委員会総会(16:00~)
15日 金		
16日 土		バルシステム埼玉誕生記念式典(13:00~・浦和ワシントンホテル)
17日 日		第17回統一地方選挙(一般市)告示
18日 月		
19日 火		第17回統一地方選挙(町)告示
20日 水		①埼玉労福協企画委員会(10:00~・ときわ会館) ②労働委員会任命式(10:00~)
21日 木		さいたま市地協地域メーデー前夜祭(18:00~・市民会館おおみや小ホール)
22日 金		
23日 土		
24日 日		①第17回統一地方選挙(一般市町)投票票 ②秩父地協地域メーデー(9:00~・秩父ミュージアムパーク)
25日 月		
26日 火		①埼玉労福協理事会(10:00~・ときわ会館) ②地域労福協代表者会議(13:30~・ときわ会館) ③埼玉労福協「中小企業勤労者福祉サービスセンター推進会議」(15:30~・ときわ会館)
27日 水	第2回広報委員会(16:00~・連合埼玉会議室)	第10回全国男女平等推進委員会委員長会議(9:00~・田町交通ビル5F)
28日 木		労働委員会総会(16:00~)
29日 金	第82回県中央メーデー(鐘塚公園)	
30日 土		本庄・児玉郡市地協地域メーデー(10:00~・本庄市役所)

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆今こそ、連帯と支え合い

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする大地震が発生した。マグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の巨大地震であり、宮城県北部で震度7を記録したのをはじめ、東北・関東各県でも震度6以上となり、北海道から西日本の広域で大きな揺れを生じせしめた。さらには、地震発生直後から、東北・関東地方の太平洋側に、かつてない記録的な大津波が到達し、沿岸地域に甚大な被害をもたらした。

思いもよらぬ災害で人命を奪われた犠牲者に、心からの哀悼の意を表するとともに、この大地震・津波で被災されたすべての被災者に心からのお見舞いを申し上げる。

多くの人が一瞬にして住まいを失い、ライフラインの断絶ともあわせて避難所での生活を余儀なくされている被災者への支援を急がなければならない。加えて、多くの行方不明者の一刻も早い救出活動を願わずにはいられない。

日本が直面しているのは、マグニチュード9.0という地震のエネルギーだけではなく、痛みも、悲しみも、その大きさは計り知れないほどである。災害直後の緊張が解け、沈みこむ人が日に日に増えていく。ストレスと疲労は限界に近づき、避難生活の中で生き延びた命が失われている。

連合は、組合員・家族の生命と財産を守るのみならず、労働運動の社会的使命として、被災者救援と復興に組織の全力をあげて取り組んでいく。「国難」ともいえる事態である今こそ、連帯と支え合いの精神で、一致結束して救援・復興活動に取り組むことを決意し、行動を呼びかけるものである。

◆いつもの元気、いつもの笑顔、いつもの生活

一方、地震と津波の被害状況や物資が届かず困窮する被災者の映像を見続けるうちに、私たちは自分の無力さに打ちのめされ、普通に暮らしていることに罪悪感を抱いてしまう。手厚い支援は必要であるが、日本中が冷静さを欠き、身の丈以上のことをしようとはしていないだろうか。立ち直りかけていた日本経済は、未曾有の大災害で、一瞬にして破壊されてしまった。今、私たちが成すべきことは、被災者への支援活動とあわせ、経済活動を地道に進めることであり、日本経済の立て直しを図ることである。そのためにも今までの日常生活に早

く戻すことが必要である。今こそ、国民一人ひとりの知恵と行動力が求められている。

先日、賢明に復興支援にあたっている人から貰った手紙に、ツイッターにあった言葉が書かれていた。それを読んで元氣と希望を貰ったので紹介する。

○2歳の息子が一人でシューズを履いて外に出ようとしていた。「地震を逮捕しに行く」とのこと。小さな体に宿る勇気と正義感に力を貰う。

○避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らしたとき、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中をさすって言っていたらしい。大丈夫、未来はあるよ。

○子どもがお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行きました。店員さんがその子どもの背中に向かってかけた「ありがとうございます」という声が、震えていました。

◆今こそ、「投票に行こう!」

今回の大震災では、一瞬にして行政機能が崩壊してしまうことも見せつけられた。被災地では被災者同士が、助け合い・支え合う姿が映像に映し出され、地域社会の大切さを改めて思い知らされた。

一方で、地域の力だけでは解決できないことも数多くあることは否めず、政治に頼らざるを得ないことも事実である。私たちの生活に直結している身近な地域の政治を託す議員を選ぶ選挙が地方選挙であり、今回の統一地方選挙である。

私たちの一票一票は、希望と安心の社会を構築するために活動する議員を選ぶものであり、与えられている一票をしっかりと行使しなければならない。「こんな時期に選挙なんか」という声も多くあるが、こんな時だからこそ、私たちの未来を託すに相応しい議員を選ばなければならない。

「希望と安心の社会づくり」のために、今こそ皆さんに呼びかけたい「投票に行こう!」。

2011.3.24